

※入札公告を必ず確認してください。(海老名市ホームページに掲載しています)

入札案件概要書 (工事)

契約番号 : 6117

件名	コミュニティセンター3館受変電設備部分改修工事 (本郷・社家・下今泉)	
履行場所	海老名市本郷 4626 番地の 1 ほか 2 か所	
工期	令和 6 年 6 月 4 日～令和 7 年 1 月 31 日 (242 日)	
工事の内容等	別紙 仕様書等 のとおり	
予定価格	10,967,000 円 (税込)	9,970,000 円 (税抜)
最低制限価格	有り (事前算定型) 詳細は海老名市最低制限価格等取扱基準及び入札説明書等を参照してください。	
入札方法等	条件付一般競争入札 (電子入札)	
質疑 (仕様等に関する事項)	所定の書式により、FAX で受け付けます。 電子入札システムの機能は使用しないでください。	

参加条件	営業種目	080 電気 経審 - 点以上 - 点未満	○下請契約の請負代金の合計の額が4千5百万円 (建築一式工事の場合は7千万円) 以上となる場合には特定建設業の許可が必要です。併せて、主任技術者に代えて監理技術者を配置すること。
	発注区分 詳細は入札公告で確認してください。	第 1 区分	第 1・第 2 区分の入札に初めて参加する場合は、営業実態調査票及び認定書の写しを提出してください。
	その他の要件	告示日現在で社会保険 (健康保険、厚生年金保険及び雇用保険) に加入していること。 ※法令に基づき社会保険適用を除外されている場合を除く	
	落札件数制限	あり (第 1 区分及び第 2 区分の同日開札の <u>工事</u> で、基本数 <u>1</u> 件まで) 詳細は入札説明書等を参照してください。	
配置技術者等の兼任について	本案件に配置する主任 (監理) 技術者及び現場代理人は、工事・コンサル・一般委託の区分を問わず同じ開札日の他の案件に配置できません。		
事前提出書類 (システム添付)	参加資格確認申請時に次のファイルを添付してください。 ファイルは一つにまとめてください。 ○告示日現在で社会保険 (健康保険、厚生年金保険及び雇用保険) に加入していることを証する書類の写し。(次の (1) ~ (3) のいずれか) (1) 経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書 (経営事項審査) の写し ※経営事項審査の有効期限内の通知書を提出していれば提出不要 (2) (同通知書発行後に社会保険に加入した場合) 健康保険、厚生年金保険及び労働 (雇用) 保険料の領収書の写し (3) (法令に基づき社会保険適用を除外されている場合) 健康保険、厚生年金保険及び雇用保険の加入義務がないことの届出書		
入札時提出 (システム添付)	○入札金額積算内訳書 別添のエクセルファイル「入札金額積算内訳書 (工事入札時システム添付)」をダウンロードして使用してください。システムへは PDF 化して添付してください。		
落札候補者が提出する書類 (FAX046-232-6574)	開札後、落札候補者は次の書類を FAX で提出してください。 (落札候補者決定の翌開庁日午前 10 時まで。詳細は開札後 FAX で通知します。) ○配置技術者等に関する書類 ○建設業許可の確認できる書類 (専任技術者証明書など)		

コミュニティセンター3館受変電設備部分改修工事（本郷・社
家・下今泉）


内容説明事項書

海 老 名 市

1. 工 事 名 称 コミュニティセンター3館受変電設備部分改修工事（本郷・社家・下今泉）
2. 工 事 場 所 海老名市本郷4,626番地の1ほか2か所
3. 工 事 概 要 コミュニティセンター3館（本郷・社家・下今泉）の受変電設備老朽化に伴い部分改修するもの
 ■ 工事内容
 ・受変電設備
4. 工 事 期 間 令和6年6月4日 から 令和7年1月31日 まで
5. 設 計 図 書 上記諸条件に依る見積に必要な図書は下記とする
 (1)設 計 図 16 枚
 (2)内容説明事項書(本書・環境配慮マニュアル) 5 枚
6. 数 量 書 (1)数 量 書 11 枚
 ※数量書は、発注者の積算の透明性、客観性、妥当性を確保し、入札参加者等の積算、工事費内訳書作成の効率化を図ることを目的に参考数量として公表するものである。
7. 法 令 の 遵 守 本工事の実施に当たり、建築基準法、消防法、その他各関係法令・規則等を確実に遵守すること。
8. 官 公 署 手 続 官公署手続きは、全て受注者の責任と負担に於いて行うこと
9. その他の事項

項 目	適 用	内 容	備 考
(1)事業区分			
①事業区分	<input type="checkbox"/> 補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単事業		
(2)工事監理体制			
②工事監理体制	<input checked="" type="checkbox"/> 市担当者 <input type="checkbox"/> 外部委託者		
(3)工程関係			
①工期内施設利用	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	コミュニティセンターは運営中である。	安全対策を施し、各関係者の安全確保を図ること
②関連工事、その他工事	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
③施工時期の制限	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	施設休館日に施工すること。	
④施工時間の制限	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
⑤協議未成立事項	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		

項目	適用	内容等	備考
(4) 仮設関係			
①仮設計画	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		受注者において作成し、事前に施設管理者及び市担当者等の承諾を受けること
②交通誘導員	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
③工事用電力、水の利用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	受注者対応	
④濁水・湧水処理における特別な対策等	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
(5) 支給品			
①支給品について	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
(6) 建設副産物関係			
①建設発生土	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
②建設副産物 建設廃棄物	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	数量書による	
③その他 (特別産業廃棄物等)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
(7) 各種調査、使用制限			
①各種調査	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
②使用制限 関係法令、規則等を遵守するのは当然のこと右記事項にも配慮すること	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	揮発性有機化合物等	本工事に使用する材料は、揮発性有機化合物等の放散しないもの又は放散量の少ないものを使用すること (F☆☆☆☆使用)
(8) 現場対応			
①現場照査等	事前調査を十分に行い、不明確な部分は工事打合簿により施工前に市監督員と協議し、確認をとること		
②公衆災害	本工事における振動・騒音・粉塵・悪臭等については、特に注意し、付近住民とのトラブルについては、受注者の責任において解決すること		
③原形復旧	工事範囲内の備品類の移動及び養生、清掃については、受注者の責任において実施し、工事後は原形に復すること		
(9) その他			
①適用基準等	<input checked="" type="checkbox"/> 海老名市ホームページ「海老名市公共工事共通事項書」1、適用図書による。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
②工事完成図書	<input checked="" type="checkbox"/> 海老名市ホームページ-検査担当からのお知らせ 「18 工事関係様式」内、工事提出書類チェックリストによる <input checked="" type="checkbox"/> 海老名市ホームページ-営繕課担当事務 「営繕工事 工事提出書類作成等の手引き」による		
③海老名環境マネジメントシステム	市では、海老名環境マネジメントシステムの運用に伴い、「公共工事環境配慮マニュアル」が適用となった。よって本工事では、その環境配慮マニュアルに基づき別紙の項目で対象となる作業について環境配慮に努めること		
④法定外の労災保険の加入	本工事において、受注者は法定外労働災害補償制度（法定外の労災保険）に加入すること。また、受注者は保険契約を締結したときは、発注者にその証券等を提示すること。		

 公共工事において配慮すべき環境要素

海老名市の公共工事において配慮の対象とすべき環境要素は、以下の一覧表のとおりとする。これらの環境要素は、工事施工過程の環境負荷の低減はもとより、公共工事の成果として地域及び地球環境に有益な影響が得られるためには不可欠なものである。

環境要素一覧表

大分類	中分類	小分類
1 地域の自然環境・ 景観	(1)緑	①自然林、草原など面的な広がりを持つ緑
		②堤防、土手、法面、並木などの樹林帯又は草原など線的な連続性を持つ緑
	(2)地形・地質	その場所本来の地形・地質とそれに依拠する生態系
	(3)水辺	河川や水路などとその堤敷及びそれに依拠する生態系
	(4)動植物	現にその土地に生息するか、又は最近まで生息していた動植物
	(5)歴史的遺産	①地表に存在する文化財、遺跡等
②埋蔵文化財		
(6)景観	①その土地の現在の景観	
	②その土地に現在ある眺望地点とそこからの景観	
	③道路等、都市基盤施設がもたらす景観	
2 地球環境	(1)資源	①石油類・金属・水・岩石等の鉱物資源
		②木材等の森林資源
	(2)大気	①公園、屋外体育施設又は工事などで発生する砂塵による迷惑を考慮すべき局地的な大気環境
		②自動車の排ガス、ごみ焼却施設からのダイオキシン等による汚染を考慮すべき地域的な大気環境
		③フロンガス、二酸化炭素等の放出による影響を考慮すべき地球規模の大気環境
	(3)水質	①公園、屋外体育施設、駐車場などの排水の影響を受ける水系
		②土地の改変等による濁水等の影響を受ける水系
③土木工事により影響を受ける地下水		
(4)土壌	畑、水田、砂利道等のほか舗装されていない剥き出しの地面	
(5)建設副産物	①排出土	
	②コンクリートガラ	
	③アスファルトガラ	
	④伐採材	
	⑤まだ使用可能な製品	
	⑥鉄骨・鉄筋・その他の金属類の切りくず	
⑦不要木材		
⑧PCB等の毒性物質		
⑨その他の建設廃材		
(6)熱帯林	コンクリート型枠などに使用され、減少を続ける熱帯林資源	
3 生活環境	(1)騒音	①工事作業機械の稼働による騒音
		②工事用車両走行による騒音
		③公園、野球場、陸上競技場等屋外体育施設での騒音
		④施設の空調機等電気・機械設備の騒音
	(2)振動	①工事作業機械の稼働による振動
	②工事用車両走行による振動	
	(3)悪臭	しゅんせつ土等の悪臭
	(4)電波障害	大規模建築物による電波受信状態への影響
(5)日照障害	大規模建築物による日影時間への影響	
(6)地域生活環境	①公園、野球場、陸上競技場等屋外体育施設又は他の施設等の夜間照明により影響を受ける周辺住民の生活環境	
	②道路整備におけるルート又は道路構造による地域分断	
	③歩道若しくは道路横断施設又はその他の公共施設等における高齢者・障害者の安全な通行・歩行環境	
	④大規模建築物の駐車場等への出入り車両により影響を受ける交通の安全性	
	⑤工事車両の出入りにより影響を受ける交通の安全性	

□ 設計・施工時に配慮する事項

7. 電気設備工事

作業	配慮事項	環境要素
電気設備	省エネ型機器を採用する。	2-(1)-① 2-(2)-③
排出物	材種別に分別収集し、リサイクルできるものは必ず再生プラントへ搬入する。	2-(5)-①～⑨
	廃棄物の適正処理（マニフェスト管理）	2-(5)-①～⑨
	P C B等の適切な管理・処分を行う。	2-(5)-⑧
工事作業機械・車両運行	低騒音・低振動型作業機械を使用する。	3-(1)-①
	排ガス規制に適合した作業機械・車両（ディーゼルエンジン）を使用する。	2-(2)-②
	周辺住民の生活を妨げないように作業時間帯を設定する。	3-(1)-①② 3-(2)-①② 3-(6)-⑤
	道路以外の場所に作業機械搬入車両、ダンプトラック等の待機場所を確保する。	3-(6)-⑤
	工事用作業機械・車両の待機中はアイドリングをしない。	2-(2)-② 3-(1)-①

令和6年度

数量書

工事名称 コミュニティセンター3館受変電設備部分改修工事（本郷・社家・下今泉）

工事場所 海老名市本郷4,626番地の1ほか2か所

工期 令和6年6月4日から令和7年1月31日まで（工事工期 8.0 ヶ月）

工事概要 コミュニティセンター3館（本郷・社家・下今泉）の受変電設備老朽化に伴い
部分改修するもの

■ 工事内容

- ・受変電設備

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
電気設備工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

電気設備工事 細目別内訳

社家コミュニティセンター		受変電設備				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
高圧引込用負荷開閉器(PAS)	耐重塩じん仕様 モールド・コンロ口出線 VT内蔵・LA内蔵 方向性 ステンレス製 300A 試験調整含む	1	台			
高圧交流負荷開閉器(LBS)		4	台			
計器用変圧器(VT)		2	台			
変流器(CT)		2	台			
切替スイッチ		6	台			
ケーブル類		1	式			別紙 00-0002
端末処理 6kV EM-CET	38mm2 屋外	1	か所			
端末処理 6kV EM-CET	38mm2 屋内	1	か所			
接地極改修	LA 14mm ² 含む	1	式			
高所作業車		1	式			
撤去工事		1	式			
発生材処分費		1	式			
収集運搬費		1	式			
計						

電気設備工事 細目別内訳

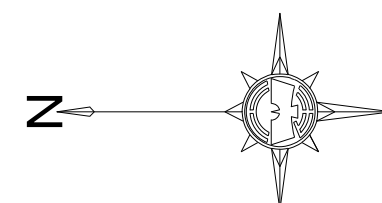
下今泉コミュニティセンター		受変電設備				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
高圧引込用負荷開閉器(PAS)	耐重塩じん仕様 モールド・コンロ口出線 VT内蔵・LA内蔵 方向性 ステンレス製 300A 試験調整含む	1	台			
高圧交流負荷開閉器(LBS)		1	台			
高圧カットアウト	屋内一般 30A	8	個			
高圧限流ヒューズ*	変圧器用 30A	5	個			
高圧限流ヒューズ*	コンテナ用 30A	3	個			
計器用変圧器(VT)		2	台			
変流器(CT)		2	台			
ケーブル類		1	式			別紙 00-0003
端末処理 6kV EM-CET	38mm2 屋外	1	か所			
端末処理 6kV EM-CET	38mm2 屋内	1	か所			
接地極改修	LA 14mm ² 含む	1	式			
高所作業車		1	式			
撤去工事		1	式			
発生材処分費		1	式			
収集運搬費		1	式			

コミュニティセンター3館受変電設備部分改修工事 (本郷・社家・下今泉)

図 面 リ ス ト

電 気

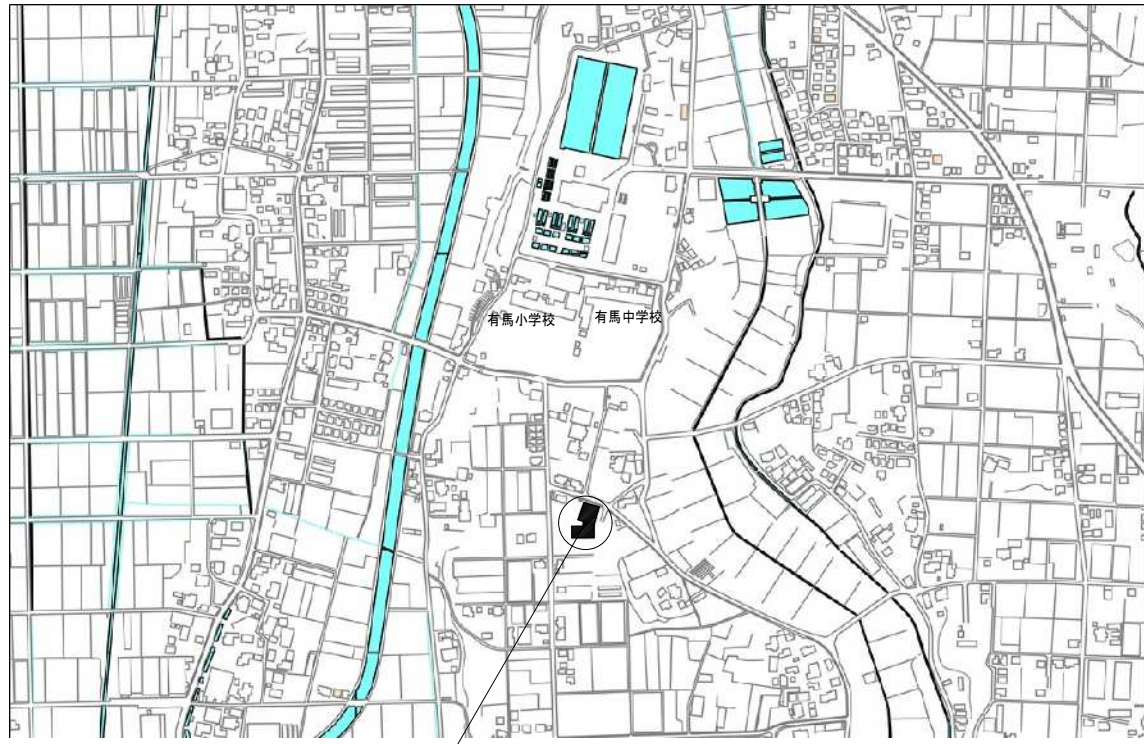
E-00	表紙、図面リスト
E-01	特記仕様書
E-02	全体案内図
E-03	案内図・配置図（本郷）
E-04	単線結線図（本郷）
E-05	1階平面図（本郷）
E-06	2階平面図（本郷）
E-07	案内図・配置図（社家）
E-08	単線結線図（社家）
E-09	1階平面図（社家）
E-10	2階平面図（社家）
E-11	案内図・配置図（下今泉）
E-12	単線結線図（下今泉）
E-13	1階平面図（下今泉）
E-14	2階平面図（下今泉）
E-15	屋上階平面図（下今泉）



工事箇所：海老名市立下今泉コミュニティセンター
所在地：海老名市下今泉一丁目17番55号

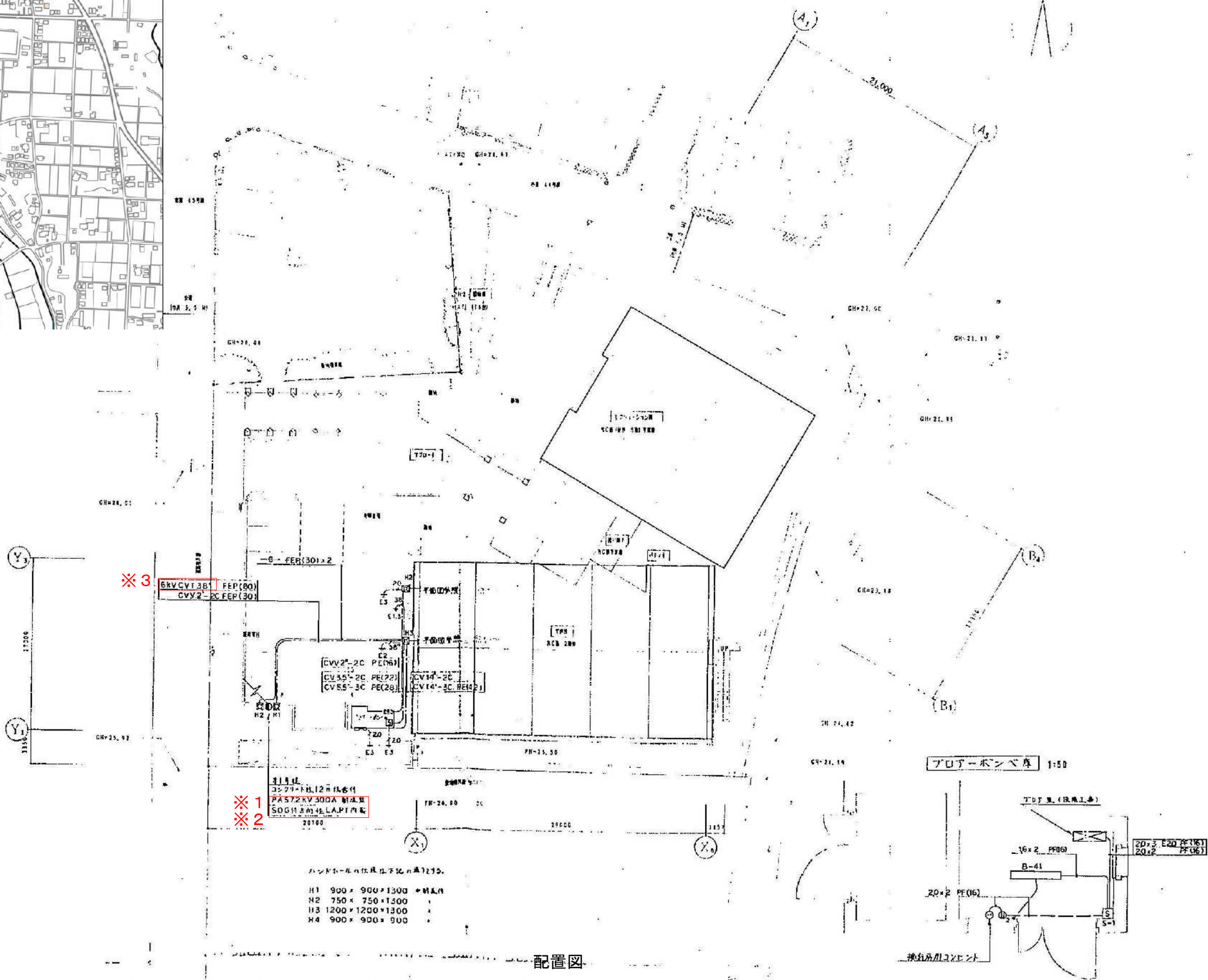
工事箇所：海老名市立本郷コミュニティセンター
所在地：海老名市本郷4, 626番地の1

工事箇所：海老名市立社家コミュニティセンター
所在地：海老名市社家三丁目18番1号



海老名市立本郷コミュニティセンター
工事場所：海老名市4,026番地の1

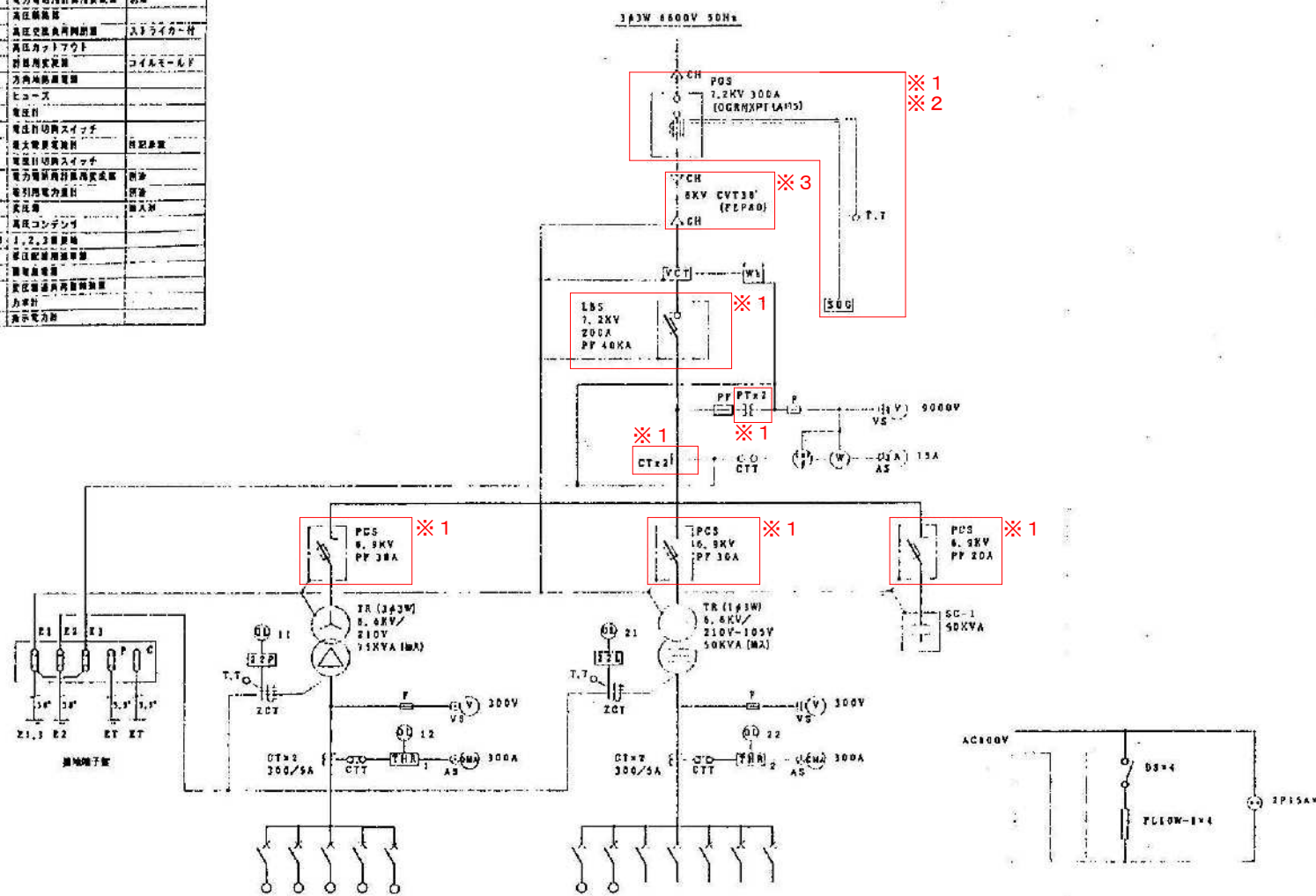
案内図



配置図

- ※1 朱書き範囲内の機器交換を行うこと。
- ※2 接地の取り直し工事を行うこと。
- ※3 ケーブル撤去・既存配管を使用して6KV VEM-CET 38°を新設すること。

記号	名称	備考
ZTC	電圧検出装置	
CH	ケーブルヘッド	
VCT	電力用絶縁用変圧器	別冊
DS	高圧検出装置	
LBS	高圧交流検出装置	スライダスイッチ
PCS	高圧分断装置	
CT	計測用変圧器	コイルモーター
DGR	方向検出装置	
F	ヒューズ	
V	電圧計	
YS	電圧検出スイッチ	
DMA	電圧検出装置	別冊
AS	電圧検出スイッチ	
PCT	電力用絶縁用変圧器	別冊
WH	高圧検出装置	別冊
TR	変圧器	別冊
SC	高圧コンデンサ	
E1, E2, E3	1, 2, 3相検出	
MCB	高圧検出装置	
Z	電圧検出装置	
THA	高圧検出装置	
CS	力率計	
W	表示電力計	

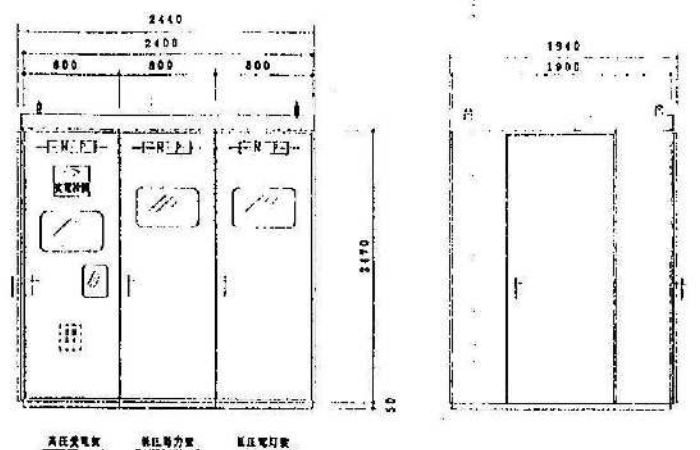


相数	電圧	容量	機種	機種区分
P-1	37.5kV	MCB27400AT30AT	CV150-1C	
P-2	1.0kV	MCB3P30AF30AT	CV14-1C	
S-1	2.75kV	MCB3P30AF30AT	CV3.1-3C	
E1	1.5kV	MCB3P100AT75AT	CV22-1C	
Z		MCB3P100AT100AT		

H 3823 kw

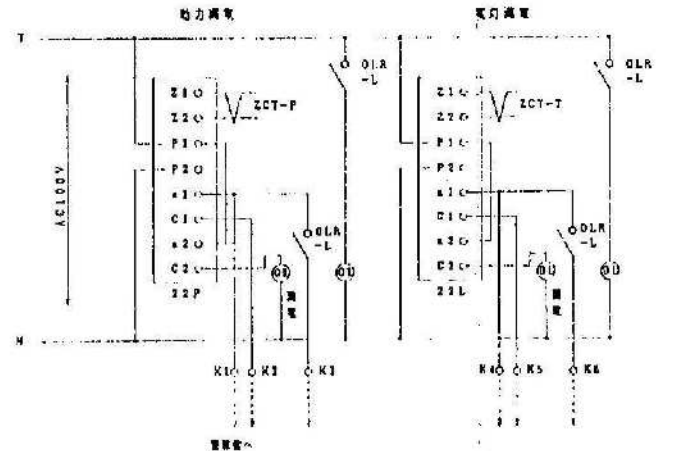
相数	電圧	容量	機種	機種区分
L-1	34.975kV	MCB3P225AT700AT	CV100-3C	
L-2	13.914kV	MCB3P100AT100AT	CV34-3C	
L-3	14.223kV	MCB3P100AT100AT	CV38-3C	
S-1	4.00kV	MCB2P50AF30AT	CV1.5-2C	
U1P75kV	5.00kV	MCB3P100AT75AT	CV14-3C	
U2P75kV	1.85kV	MCB2P30AF30AT		
Z		MCB3P100AT100AT		

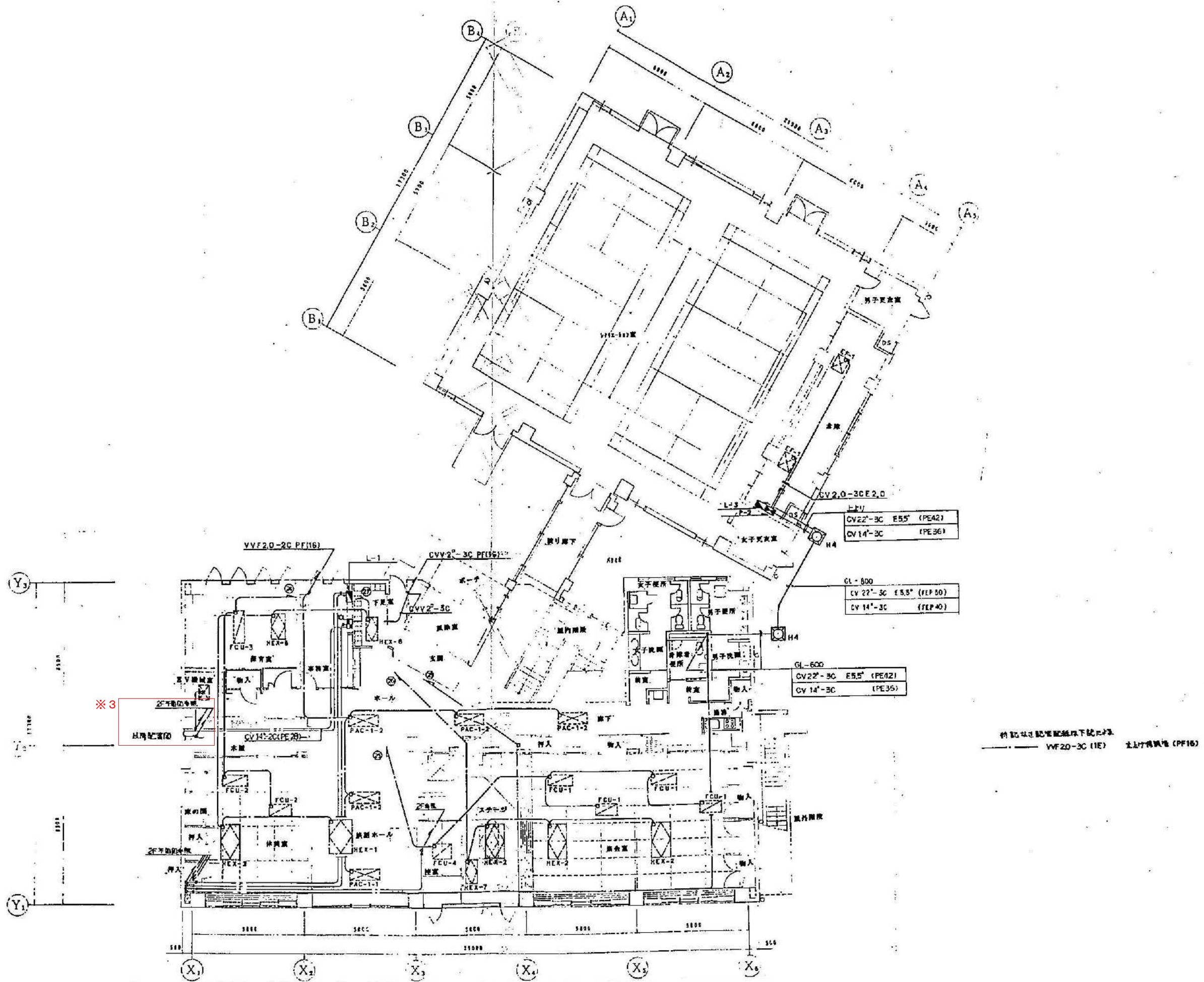
H 69.266KV7



屋外型 キュービクル参考図

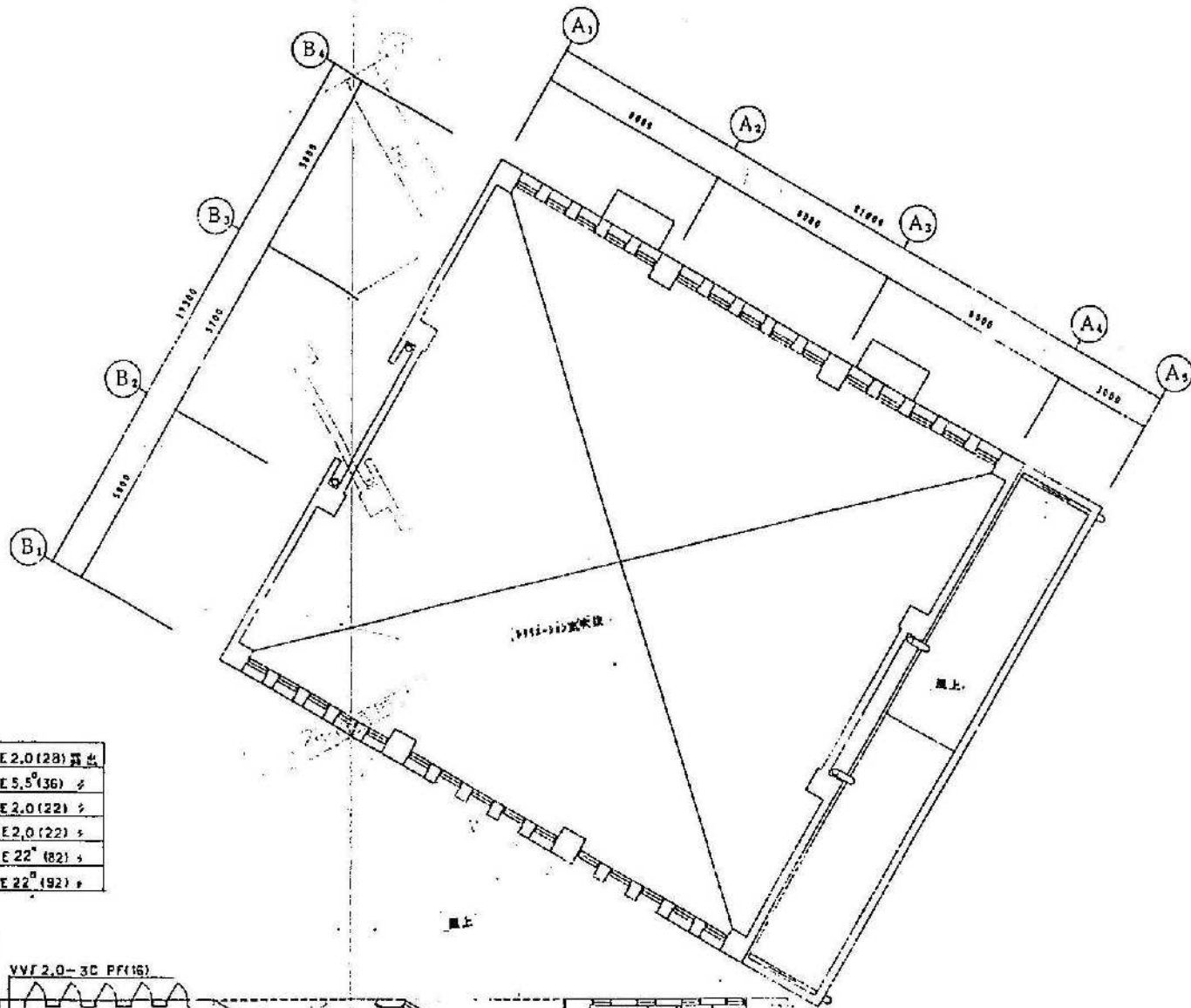
- 備考
- キュービクルは開閉器の各相用1号の標準仕様とする。
 - 開閉器は100A以上とし、アーススイッチにて保護するものとする。
 - 開閉器及び接地用開閉器は、接地開閉器により動作し、警報を発生し、警報解除により復帰するものとする。
 - 開閉器は開閉動作時に接地開閉器の動作を確認するものとする。
 - 開閉器は開閉動作時に警報を発生するものとする。
 - 開閉器は開閉動作時に警報を発生するものとする。
 - 開閉器は開閉動作時に警報を発生するものとする。
 - 開閉器は開閉動作時に警報を発生するものとする。
 - 開閉器は開閉動作時に警報を発生するものとする。





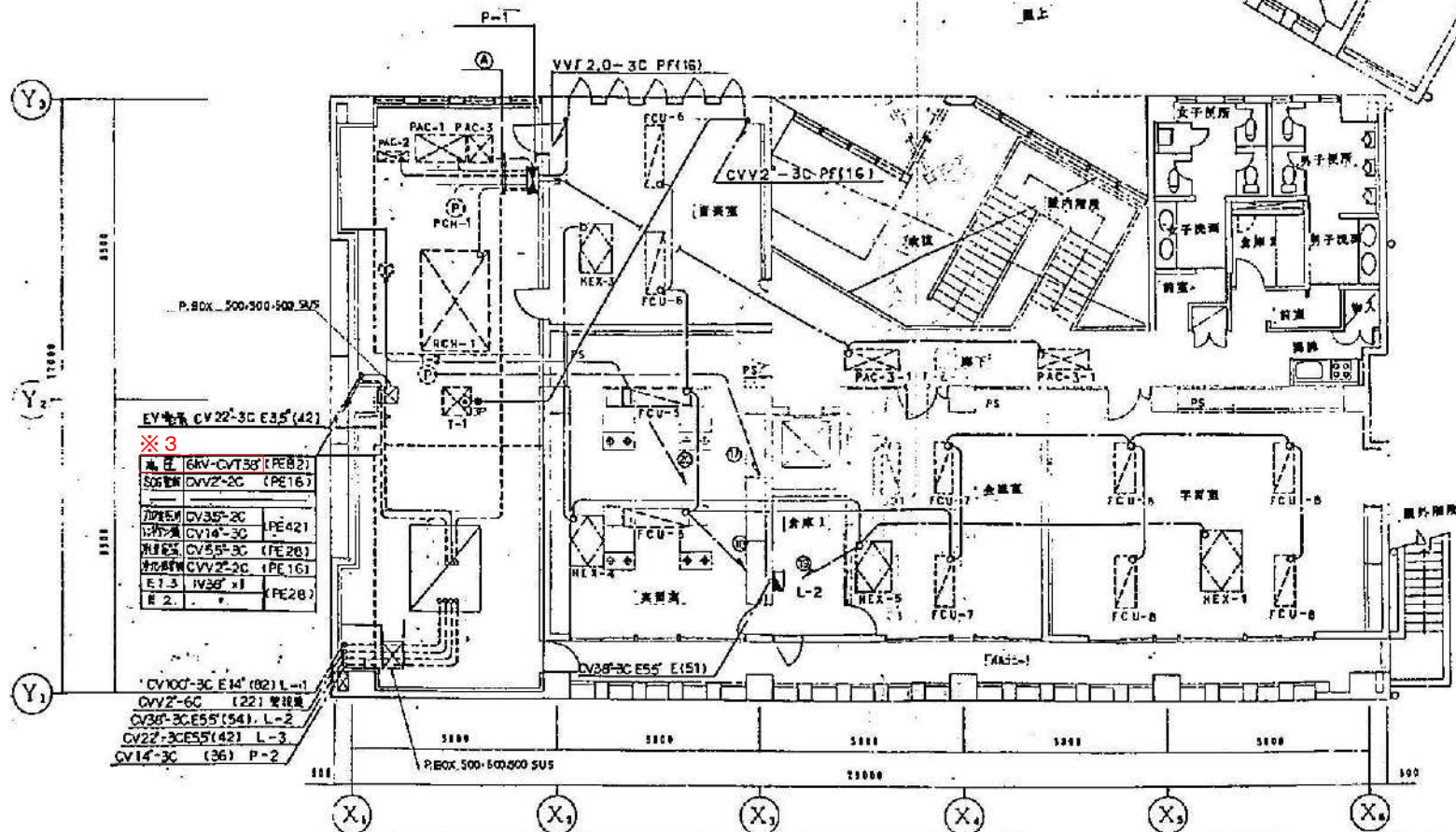
付記 以下記電配図に示す
 VVF2.0-3C (1E) 主幹ケーブル (PF16)

図面名称	1階平面図 (本郷)	図面番号	E-05
縮尺	1/200		
件名	コミュニティセンター3館受変電設備部分改修工事 (本郷・社家・下今泉)		

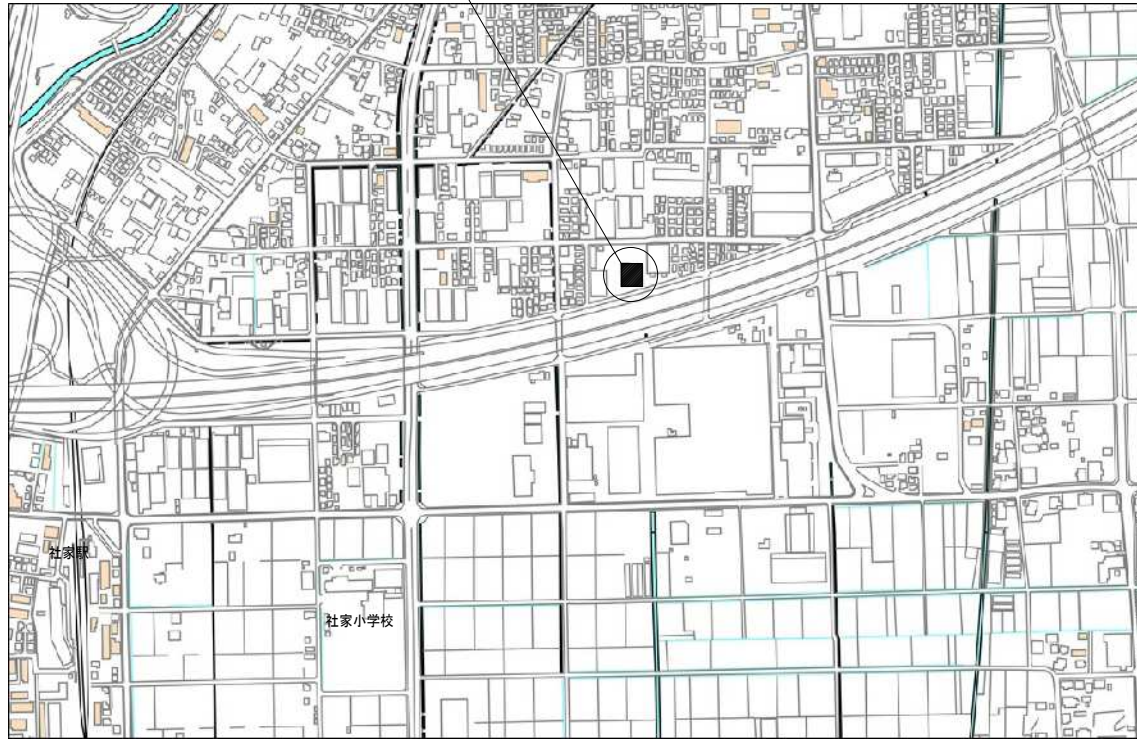


② 上1F

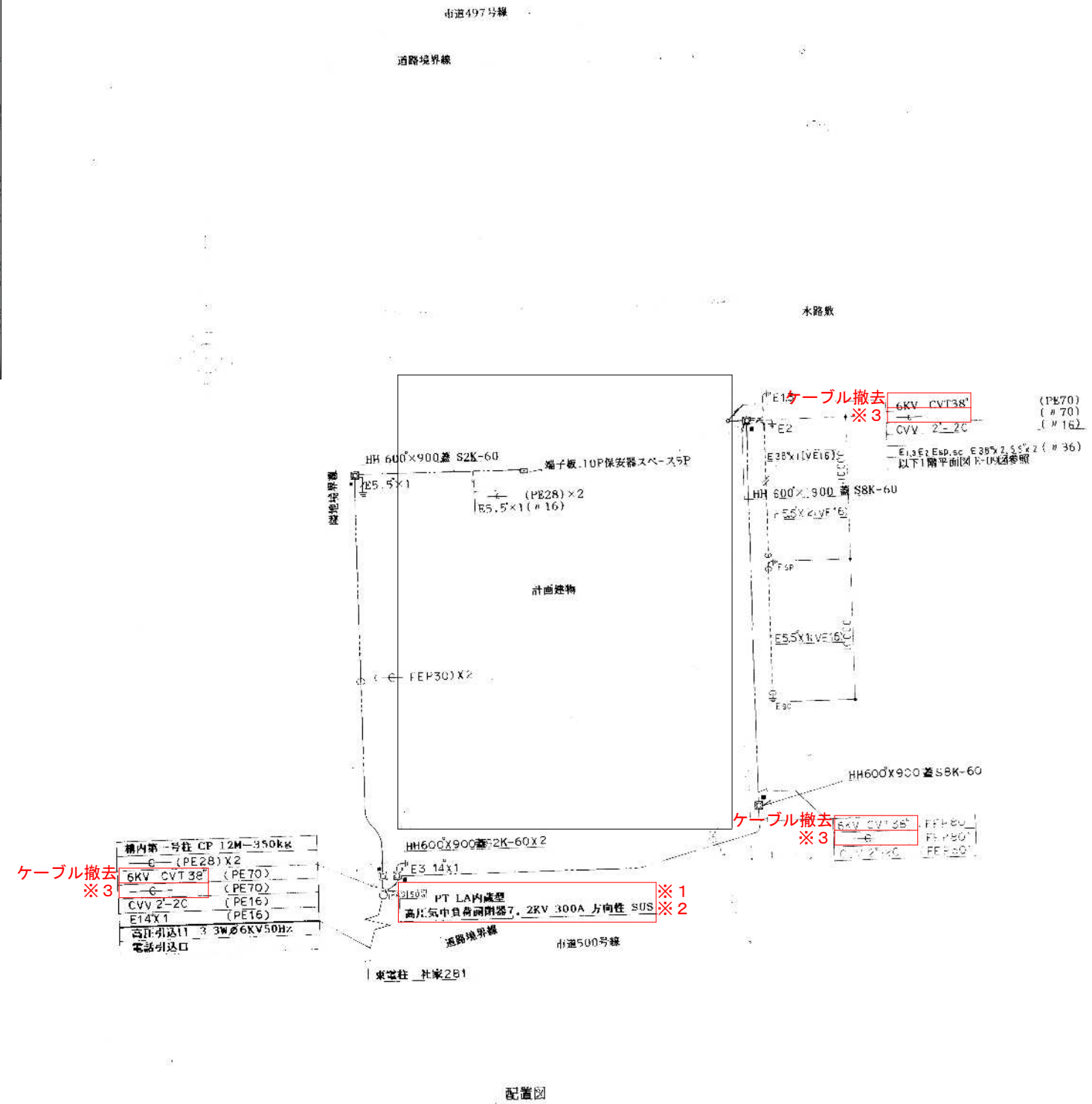
~ PAC-3	CV 5.5 ³ -3C E 2.0 (28) 露出
~ PAC-1	CV 14 ³ -3C E 5.5 (36) ↓
~ PAC-2	CV 2.0 ³ -3C E 2.0 (22) ↓
~ PCH-1	CV 2.0 ³ -3C E 2.0 (22) ↓
~ RGH-1	CV 100 ³ -3C E 22 ³ (82) ↓
CB ~	CV 150 ³ -3C E 22 ³ (92) ↓



海老名市立社家コミュニティセンター
 工事場所：海老名市社家三丁目18番1号



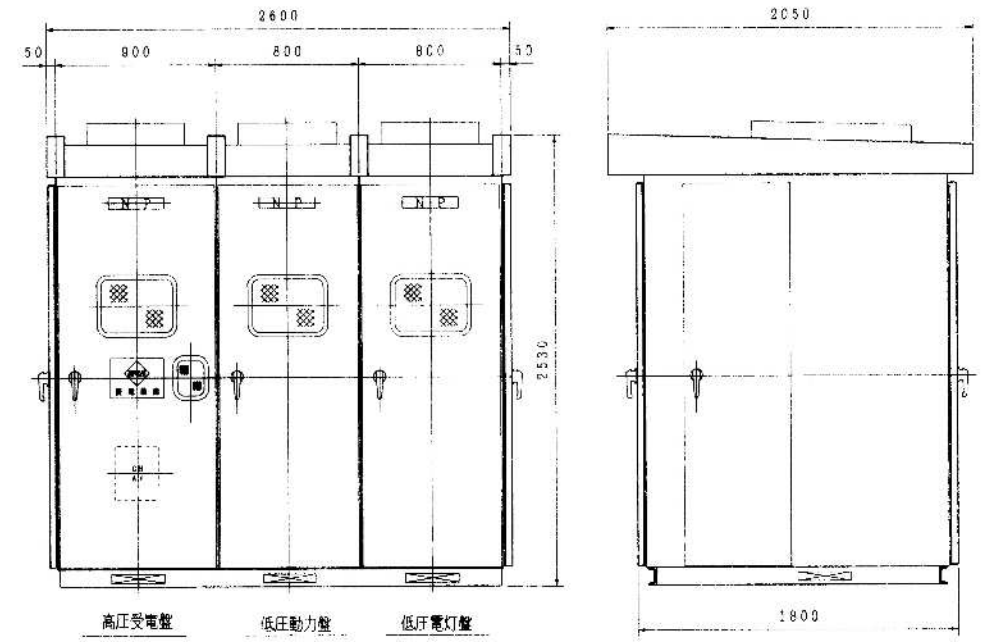
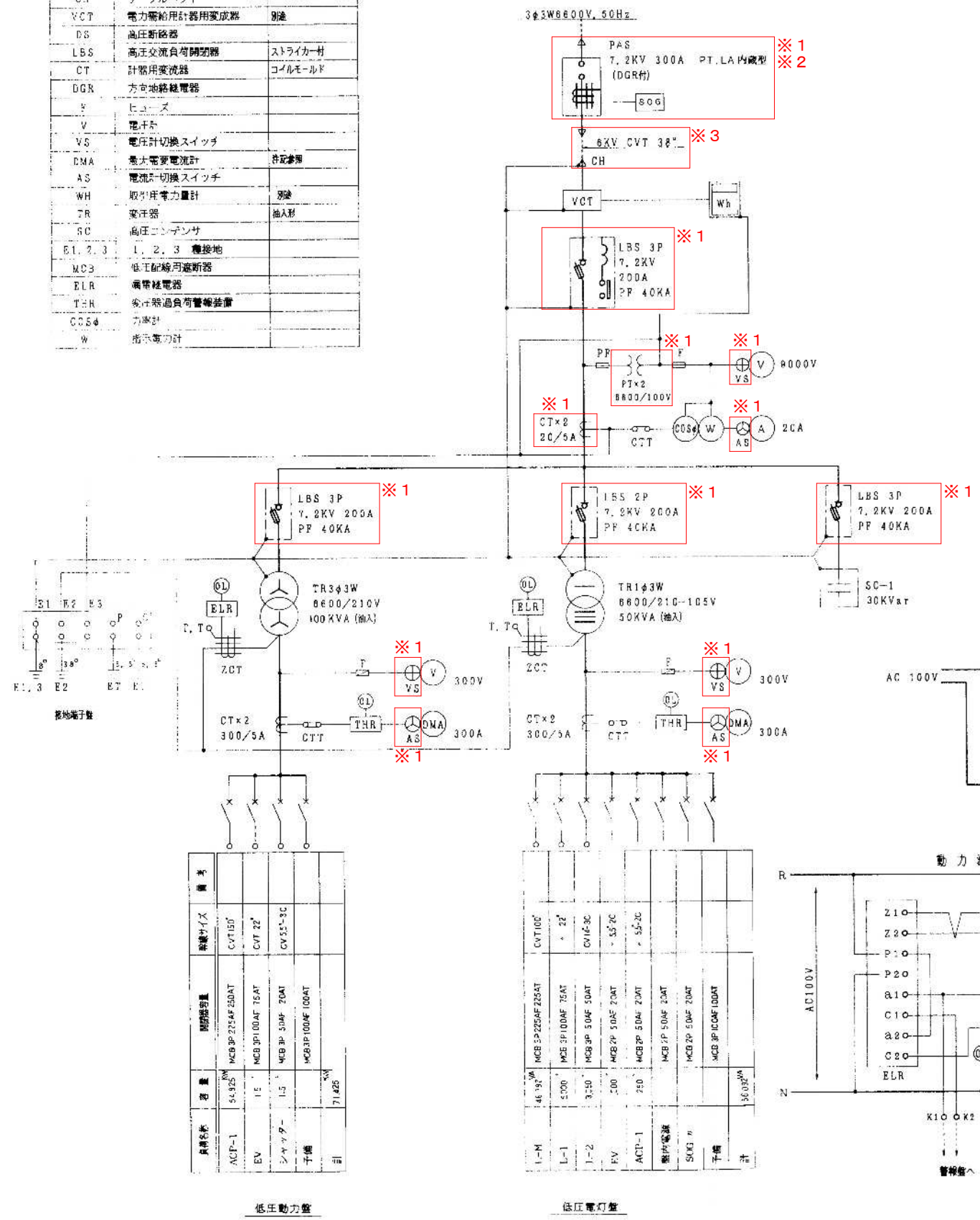
案内図



配置図

- ※1 朱書き範囲内の機器交換を行うこと。
- ※2 接地の取り直し工事を行うこと。
- ※3 予備配管に6KVEM-CET38°を新設PASから受変電設備まで新設すること。

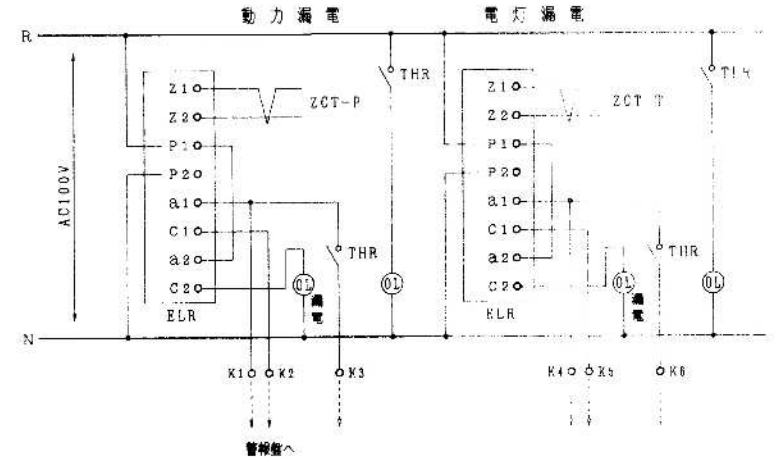
記号	名称	備考
CH	ケーブルヘッド	
VCT	電力需用計器用変成器	別送
DS	高圧断路器	
LBS	高圧交流負荷開閉器	ストライカー付
CT	計器用変流器	コイルモールド
DGR	方向地絡継電器	
F	ヒューズ	
V	電圧計	
VS	電圧計切換スイッチ	
DMA	最大需要電流計	許容範囲
AS	電流計切換スイッチ	
WH	取付用電力計	別送
TR	変圧器	挿入形
SC	高圧コンデンサ	
E1, 2, 3	1, 2, 3 種接地	
MCB	低圧配線用遮断器	
ELR	漏電継電器	
THR	電圧超過負荷警報継電器	
CCS	力率計	
W	指示電力計	



屋外型キュービクル参考図

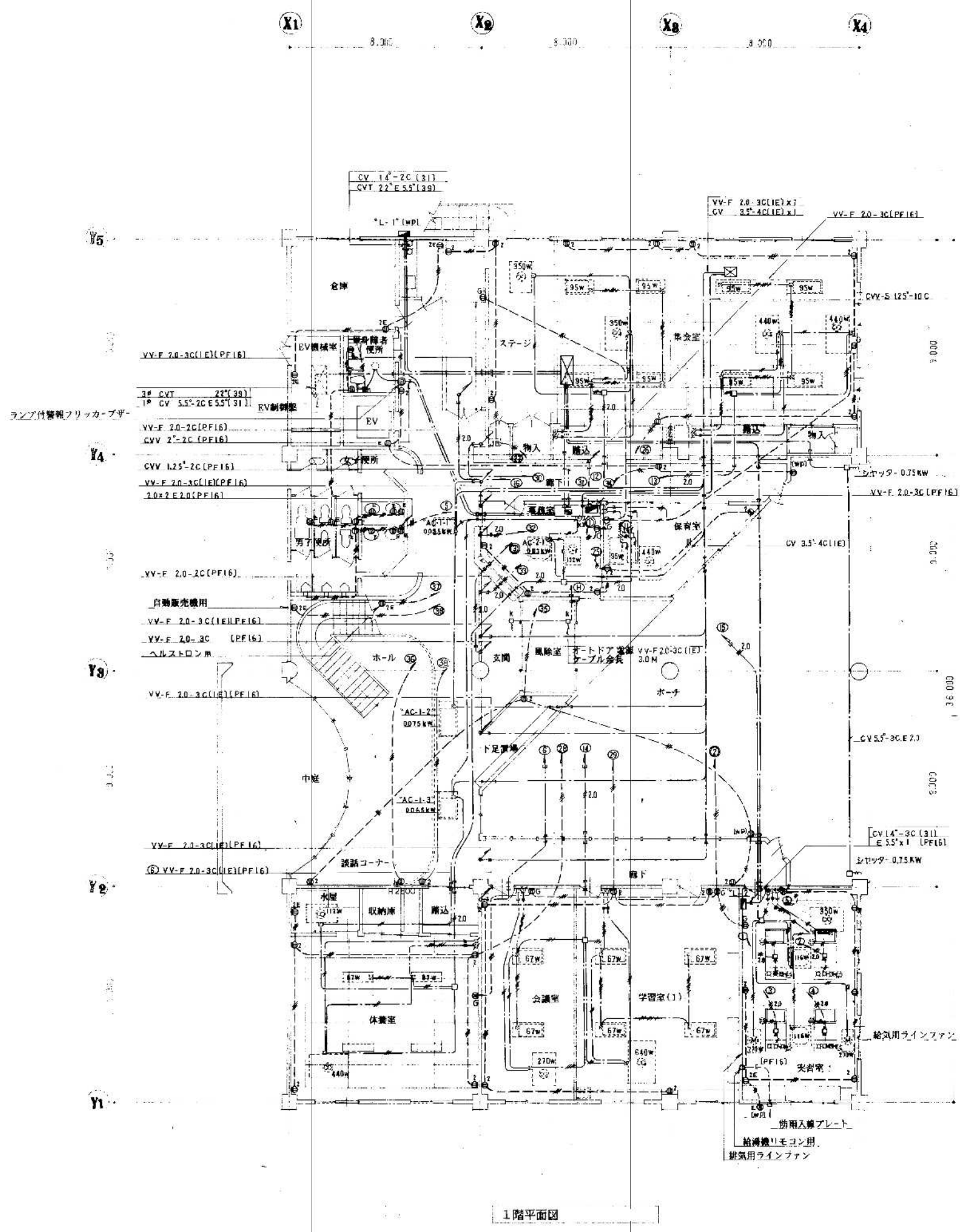
注記

1. 本キュービクルは屋外キュービクルとし、形状及び寸法は参考とする。
2. 盤内照明はFL10W×6灯としドアスイッチにて点滅するものとする。
3. 漏電警報及び変圧器過負荷警報は各々橙色表示灯により点灯しブザー警報を発し、警外警報警報一音警報を出すものとする。
4. 配線用遮断器は次側に当該電線の太さに適合する端子台を使用すること。
5. 最大需要電流計は次の機能を有するものとする。
 - a. 最大需要電流の記録
 - b. 需要電流の測定
 - c. 瞬時電流の測定
 - d. 記録指針の手動復帰
6. LBSは欠相保護装置をきとし、ヒューズは予備として、各容量毎100個納入する。
7. ZCTは試験線輪付きとし、T, Tを扉の前面に設ける。
8. 漏電継電器は自動復帰、手動復帰切替式とする。



品名	数量	規格	備考
ACP-1	54325	MCB 3P 225AF 225AT	
EV	15	MCB 3P 100AF 75AT	
シャッター	1.5	MCB 3P 50AF 20AT	
子機		MCB 3P 100AF 100AT	
計	71425		

品名	数量	規格	備考
L-M	46192	MCB 3P 225AF 225AT	
L-1	5000	MCB 3P 100AF 75AT	
L-2	3250	MCB 3P 50AF 20AT	
FV	200	MCB 2P 50AF 20AT	
ACT-1	750	MCB 3P 50AF 20AT	
警報電線		MCB 2P 50AF 20AT	
SKG		MCB 3P 100AF 100AT	
予備			
計	16032		

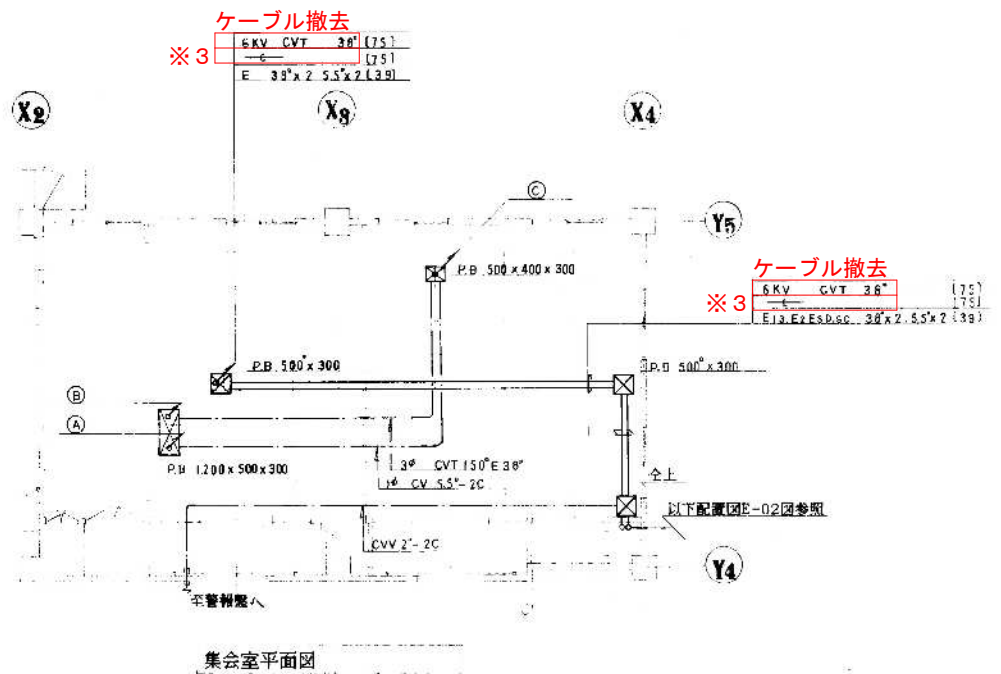


1階平面図

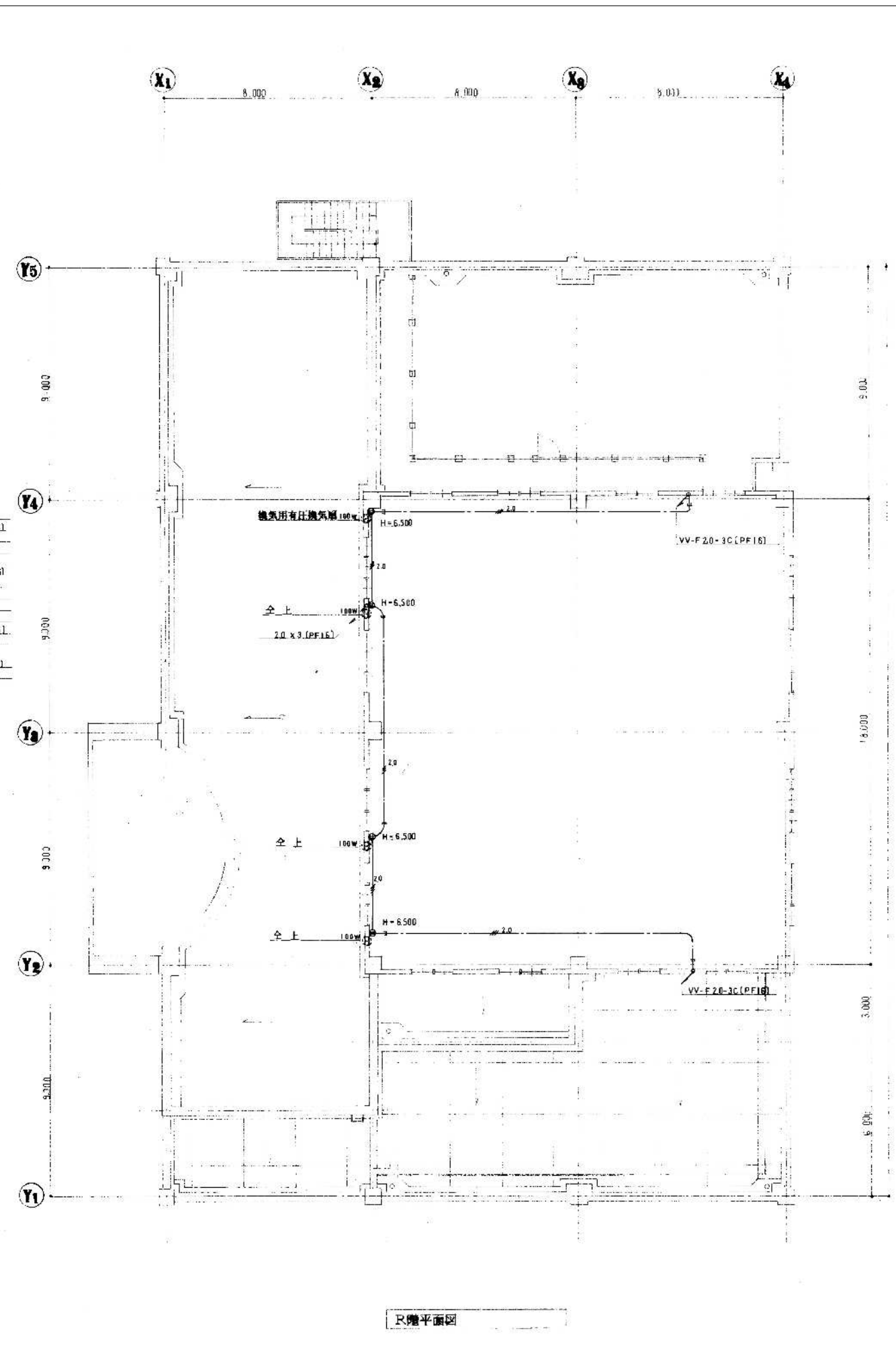
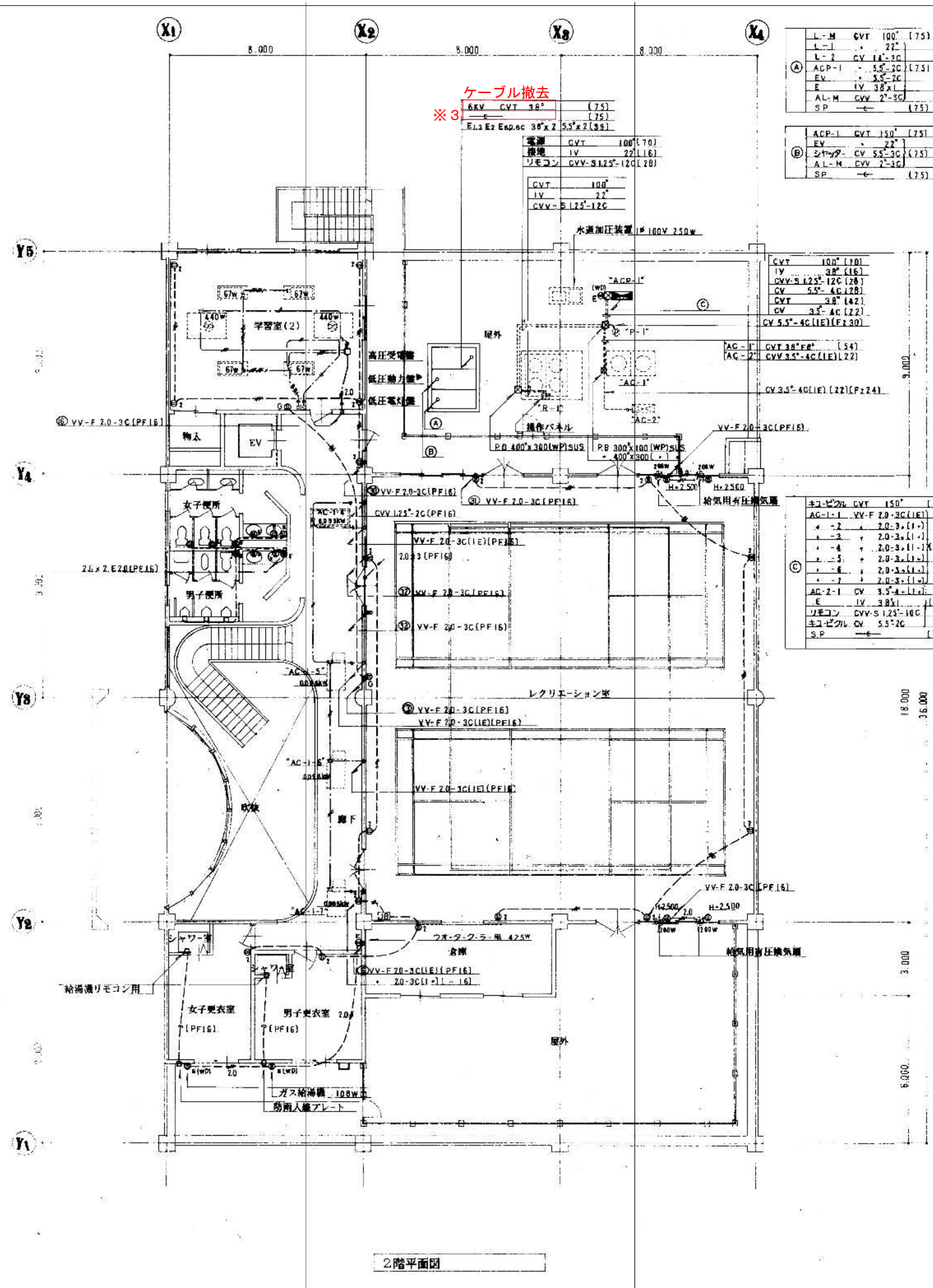
凡 例	記 号	名 称	備 考
◻	◻	動力分電盤	盤図による
◻	◻	電灯分電盤	"
◻	◻	警報盤	"
◻	◻	温度スイッチ	"
◻	◻	換気扇	別途機械設備工事
◻	◻	"	"
◻	◻	"	"
◻	◻	空調機コントロールスイッチ	"
◻	◻	大井又は埋込、いんべい配管配線	"
◻	◻	床下	"
◻	◻	床下配管	"
◻	◻	立上り、素通り、立下り	"
◻	◻	非常警報押釦	2P6A300V

特記なき配管配線は下記による

コンセント	2.0×2 (PF16)
	2.0×3 (1E)(#16)
空調電源	VV-F 1.6-3C 保護管 (PF16)
	# 2.0-3C(1E) # (#16)
空調	CVV 1.25-2C # (#16)
	# 1.25-6C # (#22)
	# 1.25-7C # (#22)



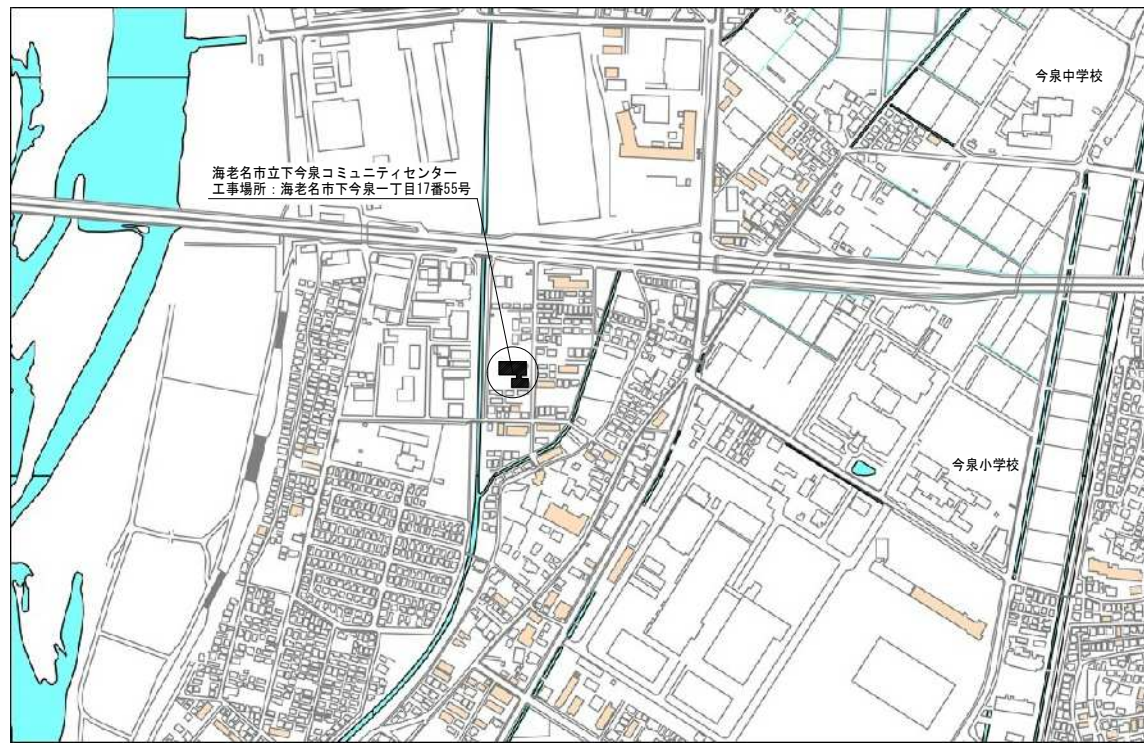
集会室平面図



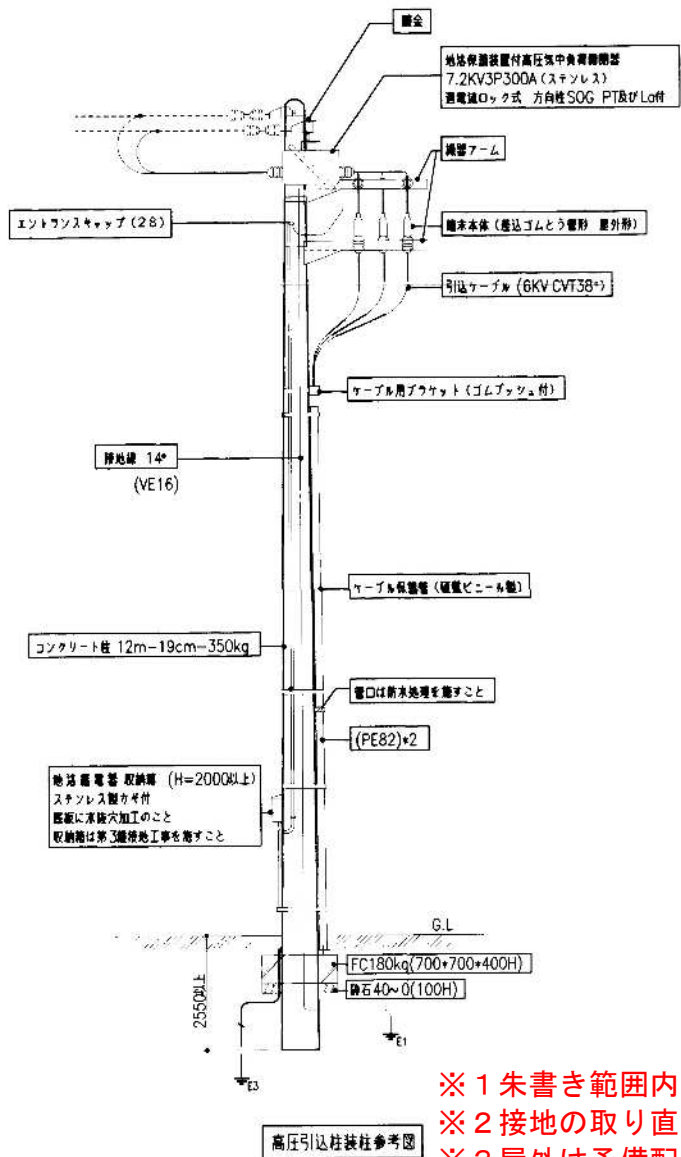
L-M	CVT	100	(75)
L-1		22	
L-2	CV	14-20	
ACP-1		5.5-20	(75)
EV		5.5-20	
E	IV	38x1	
AL-M	CVV	2-30	
SP			(75)

ACP-1	CVT	150	(75)
EV		22	
シヤツ	CV	5.5-30	(75)
AL-M	CVV	2-30	
SP			(75)

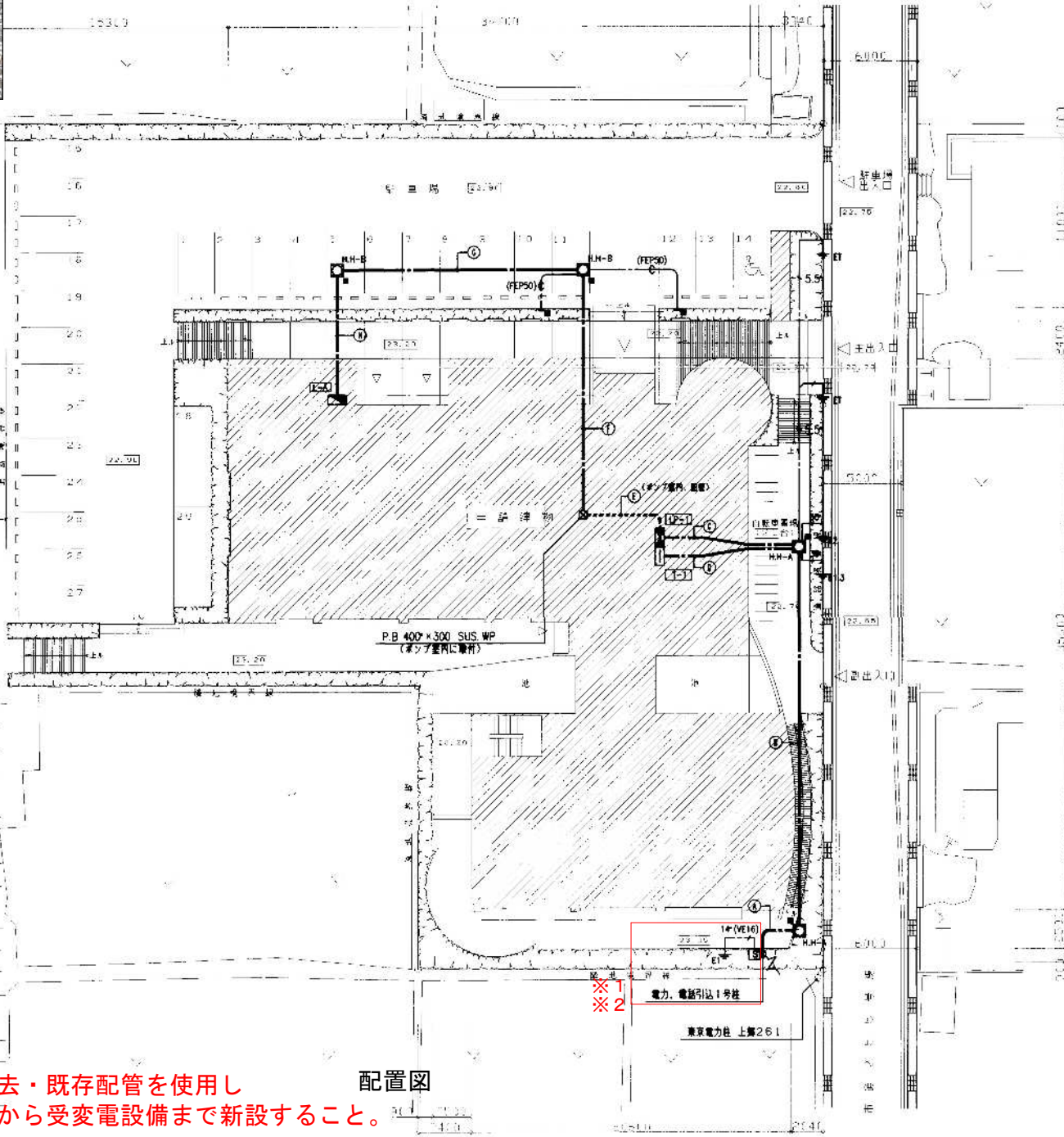
キヨゼツ	CVT	150	(75)
AC-1-1	VV-F	2.0-3C(IE)	
+2		2.0-3.1(1)	
+3		2.0-3.1(1)	
+4		2.0-3.1(1)	(75)
+5		2.0-3.1(1)	
+6		2.0-3.1(1)	
+7		2.0-3.1(1)	
AC-2-1	CV	3.5-4-11.0	
E	IV	38x1	(75)
リモコン	CVV-S	1.25-100	
キヨゼツ	CV	5.5-20	(75)
SP			(75)



案内図



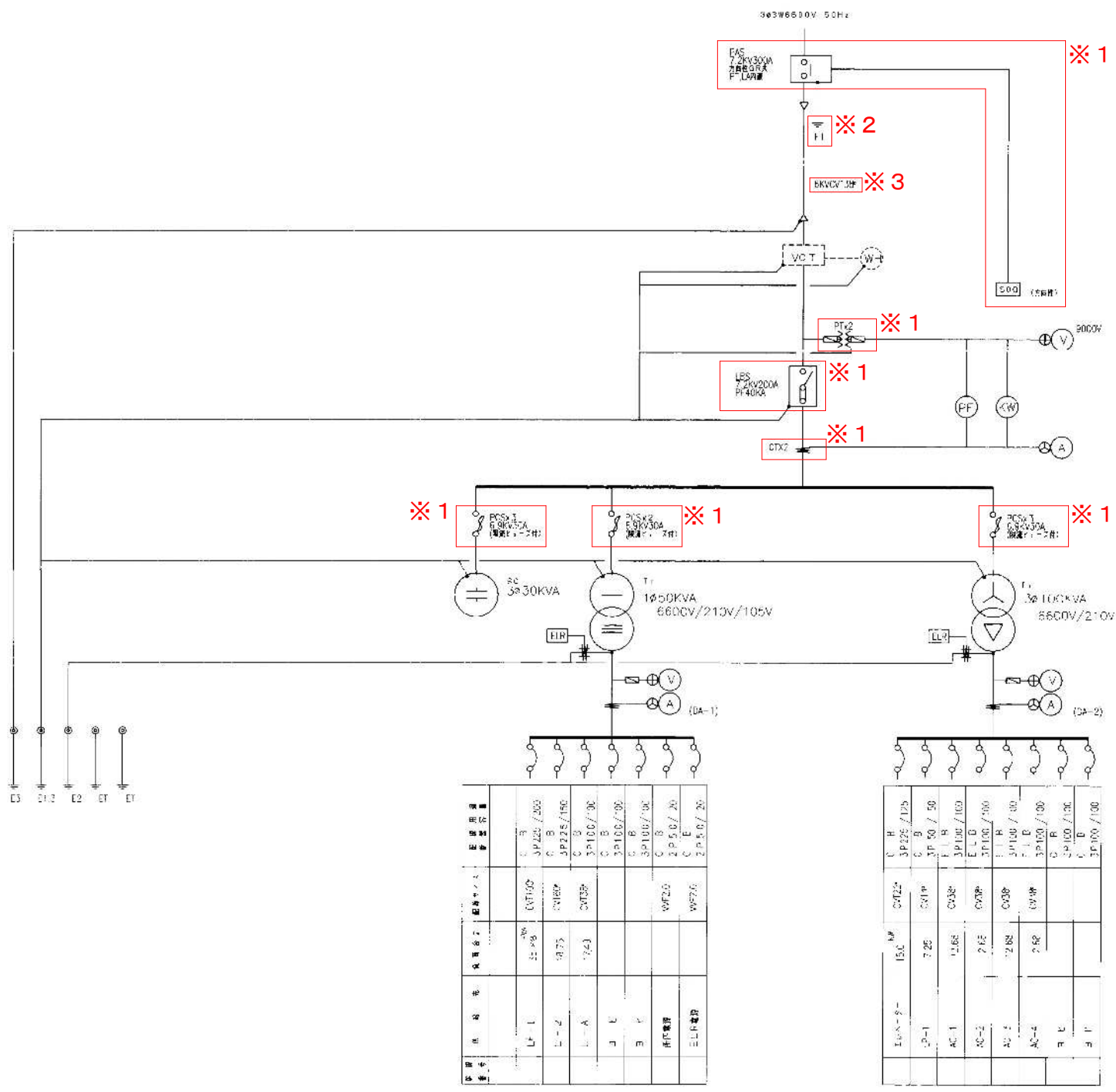
- ※1 朱書き範囲内の機器交換を行うこと。
- ※2 接地の取り直し工事を行うこと。
- ※3 屋外は予備配管使用、屋内はケーブル撤去・既存配管を使用し 6KV VEM-CET38° を新設PASから受変電設備まで新設すること。



配置図

- ① ケーブル撤去
 ③ 高圧引込 6KV CVT38° (PEB2)
 ヨビ (PEB2)
 TEL引込 (PE28)×2
- ② ケーブル撤去
 ③ 高圧引込 6KV CVT38° (PEB2)
 E1, B, E2 3φ×2 (PE36)
 ET 3.5φ×2 (PE28)
- ④ ① 高圧引込 6KV CVT38° (FEP100)
 ヨビ (FEP100)×3
 TEL引込 (FEP30)×2
- ⑤ TEL引込 (PE28)×2
- ⑥ ① 3φOP-L-A CVT38°, EB° (PE54)
 ヨビ (PE54)×2
- ⑦ ② 3φOP-L-A CVT38°, EB° (FEP80)
 ヨビ (FEP80)
- ⑧ ④ 3φOP-L-A CVT38°, EB° (PE54)
 ヨビ (PE54)

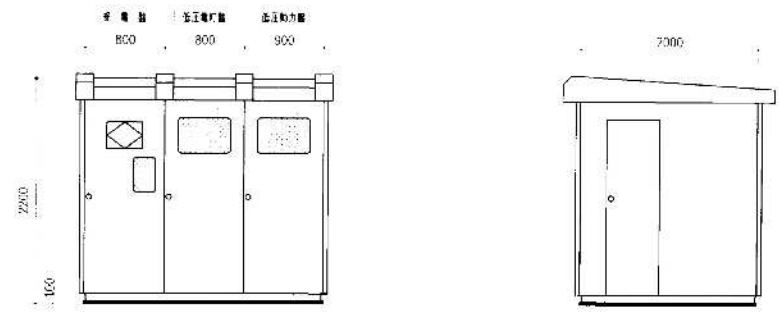
- 注記
- 1) 図中のハンドホームの使用は下記に依る。
 H.H-A 900×900×900 (H2-9) 重R2K-60 ヒバレット付
 H.H-B 900×900×900 (H2-9) 重R8K-60
 - 2) 図中の電力、電線引込柱の内容は下記に依る。
 コンクリート柱 12m×19cm×350kg
 柱上区分隔装置 PAS 7.2kv 300A PT.LA 内蔵 SOG 夫
 柱上継ぎ処理 新設導線型、高圧引込金具取付



記号	名称	仕様	数量
PCS-1	高圧分岐装置	3P225/200	1
PCS-2	高圧分岐装置	3P225/150	1
PCS-3	高圧分岐装置	3P150/90	1
PCS-4	高圧分岐装置	3P150/90	1
PCS-5	高圧分岐装置	3P150/90	1
PCS-6	高圧分岐装置	3P150/90	1
PCS-7	高圧分岐装置	3P150/90	1
PCS-8	高圧分岐装置	3P150/90	1
PCS-9	高圧分岐装置	3P150/90	1
PCS-10	高圧分岐装置	3P150/90	1

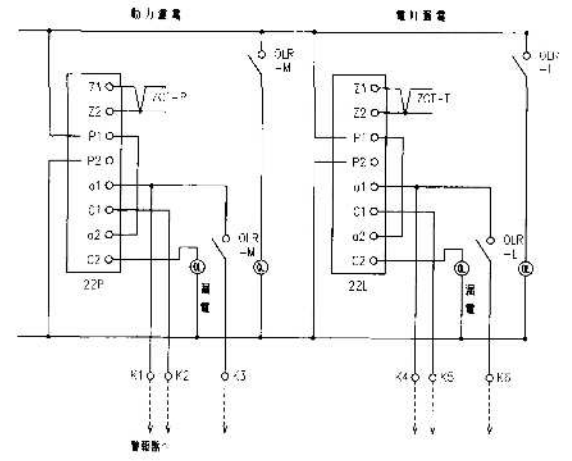
記号	名称	仕様	数量
CT22	電圧計	3P225/125	1
CT19	電圧計	3P150/50	1
CT38	電圧計	3P150/100	1
CT39	電圧計	3P150/100	1
CT40	電圧計	3P150/100	1
CT41	電圧計	3P150/100	1
CT42	電圧計	3P150/100	1
CT43	電圧計	3P150/100	1
CT44	電圧計	3P150/100	1
CT45	電圧計	3P150/100	1

電気設備 結線図

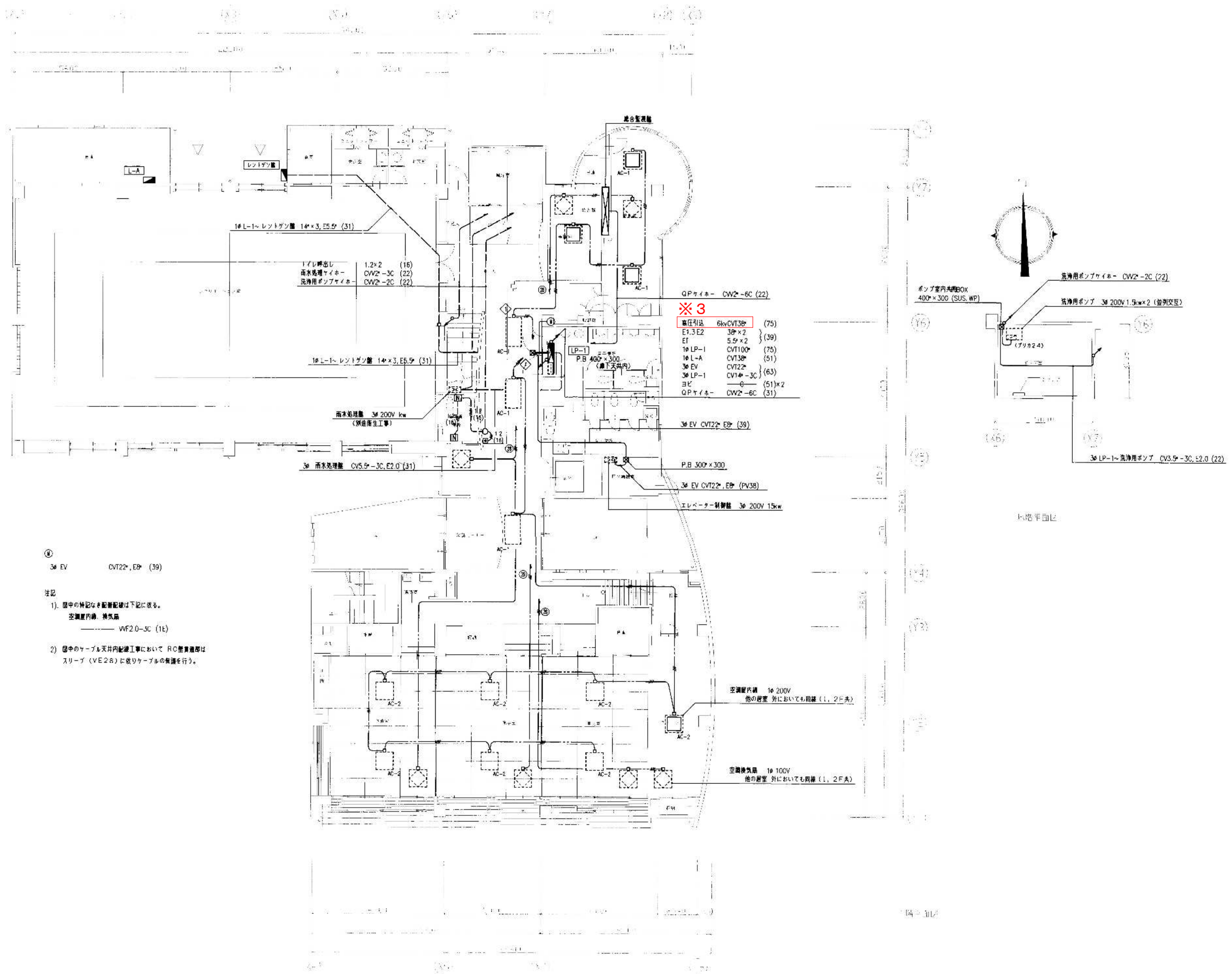


電気設備姿図

- (注)
- 本モーターは消防用電源で動作すること。
 - 室内照明はFL13×6灯とし、スイッチは2極2線式とする。
 - 漏電警報及び送電設備自警報は赤色の表示灯により点滅し、ブザー警報を発生し、警報解除の警報音を行う。
 - 配線用絶縁管は例に示す電線の本数に適合する径寸を使用すること。
 - 最大電流電圧計は次の構成とする。
 - 最大電流電圧計の記録
 - 電圧電流の測定
 - 電圧電流の測定
 - 記録紙の回転機構
 - LBSは欠相保護装置とし、ブレーキは手動とし、容量毎100%を納入する。
 - ZCTは試験線検出とし、T、Tを扉の前面に設ける。
 - 漏電警報は自動検出、手動検出両方式とする。
 - 蓋は標準品とする。



記号	名称	備考
OH	ケーブル	
VCT	電圧検出装置用分岐器	別添
WH	電圧電流計	別添
LBS	高圧交流電動機	スイッチ付
LBS	高圧電動機	
CT	計器用変圧器	2極2線式
PF	力率計	
AW	電圧電流計	
T	ブレーキ	
Y	電圧計	
MS	電圧計用ブレーキ	
DMA	最大電流電圧計	2極2線式
AS	電圧計用ブレーキ	
Ir	変圧器	納入品
SC	高圧コンデンサ	
EL2.5	2.5mm ² 3線用絶縁管	
MSB	高圧分岐装置	
ELR	漏電警報	



④ 3φ EV CVT2⁺, EB⁺ (39)

注記

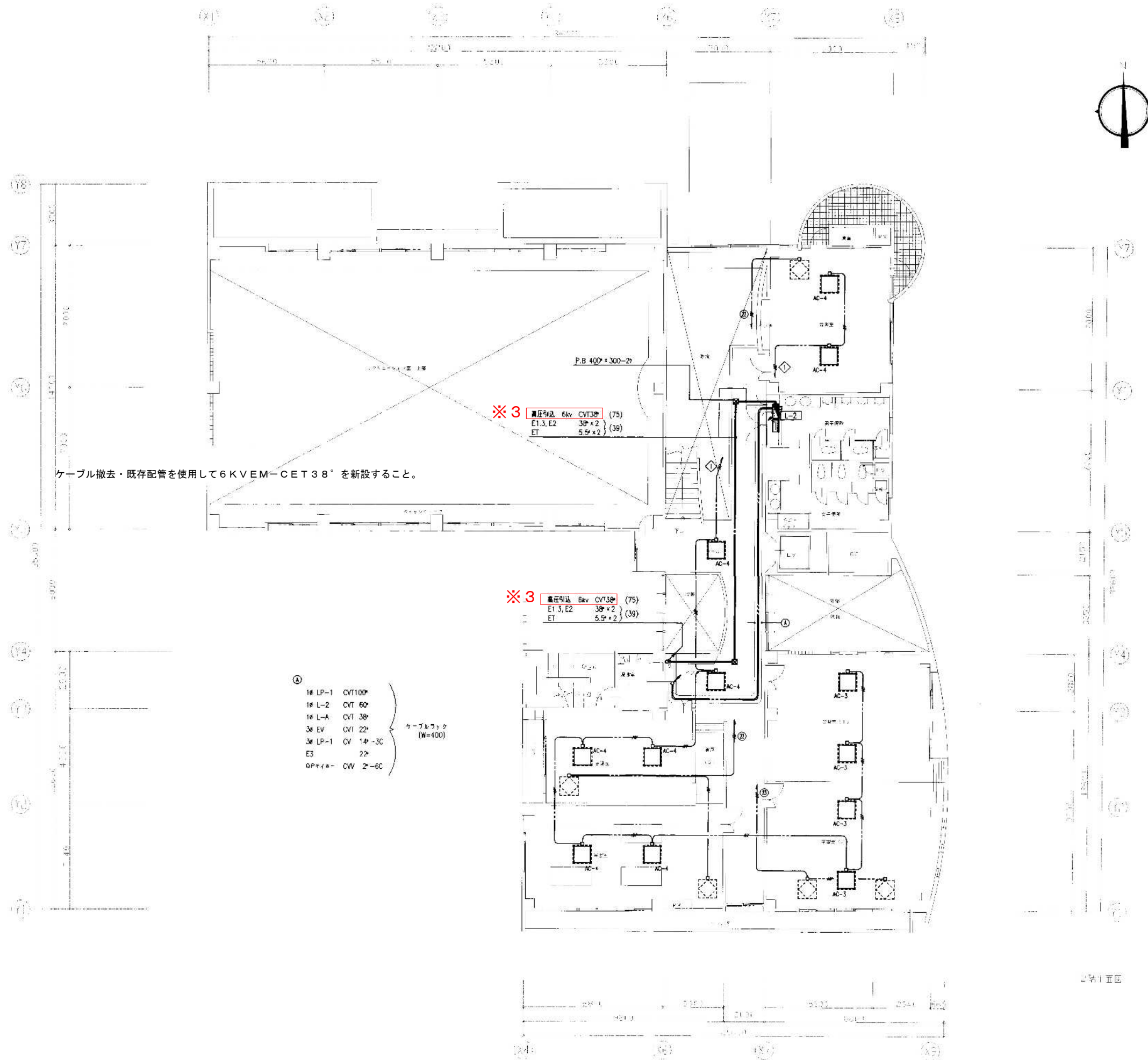
- ① 図中の線記号と設備記号は下記に依る。
 空調室内機、換気扇
 ——— VF20-3C (1t)
- ② ④中のケーブル天井内配線工事において RC設置機等はスリーブ (VE28) に張りケーブルの敷設を行う。

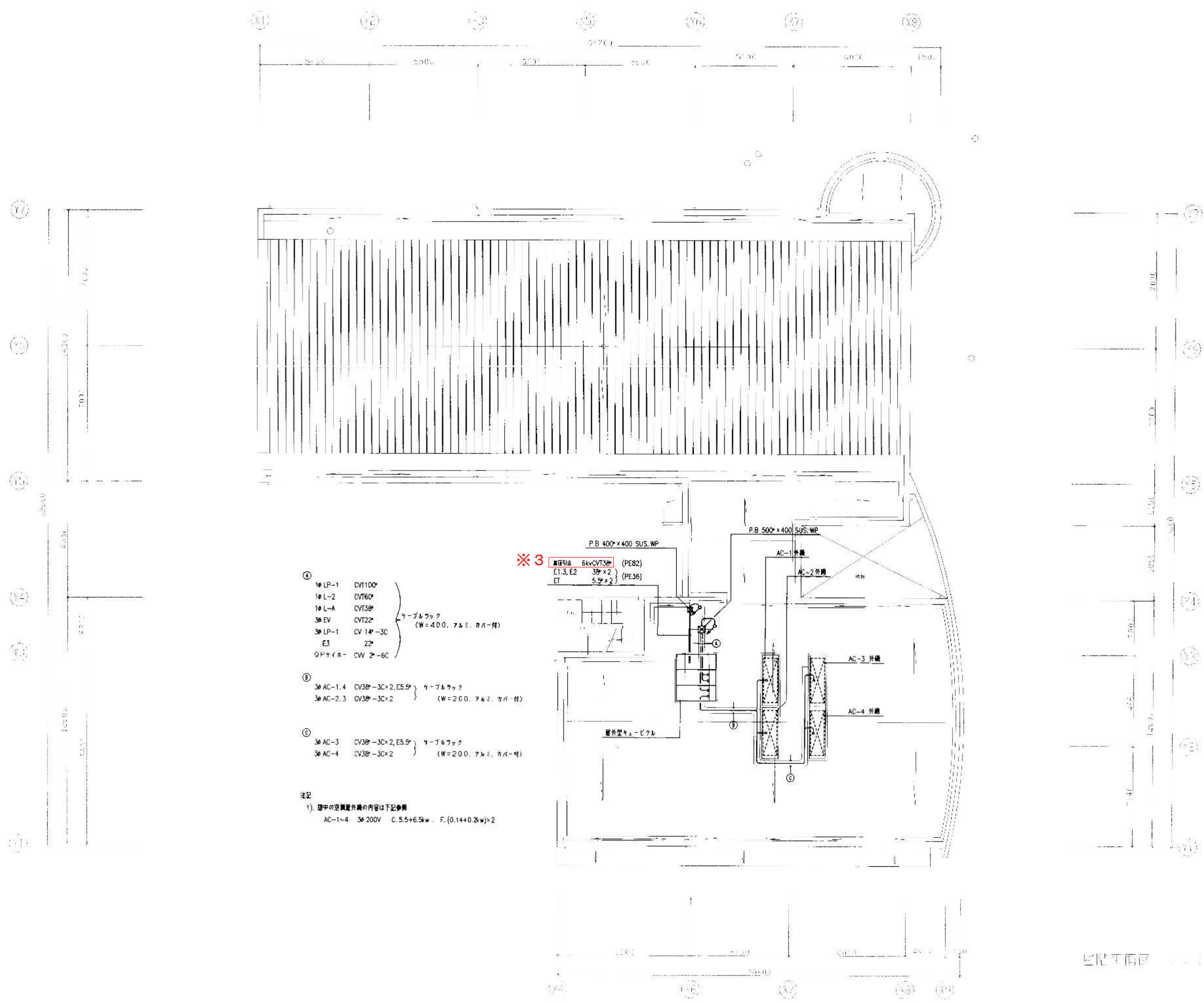
※3

責任引込	6kV CVT3 ⁺	(75)
E1,3 E2	3φ×2	}
E1	5.5×2	
1φ LP-1	CVT100 ⁺	(75)
1φ L-A	CVT13 ⁺	(51)
3φ EV	CVT2 ⁺	}
3φ LP-1	CV14 ⁺ -3C	
ヨK	—	(51)×2
QPケーブル	CW2 ⁺ -6C	(31)

空調室内機 1φ 200V
他の居室 外においても同様 (1, 2F共)

空調換気扇 1φ 100V
他の居室 外においても同様 (1, 2F共)





- ① LP-1 CVT100*
LP-2 CVT60*
LP-A CVT38*
EV CVT22*
LP-1 CV 14*~3C
E3 22*
O.P.タイマー CW 2*~6C
 } ケーブルラック (W=400, 7mm, カバー付)
- ② AC-1.4 CV38*~3C×2, ES.5*
AC-2.3 CV38*~3C×2
 } ケーブルラック (W=200, 7mm, カバー付)
- ③ AC-3 CV38*~3C×2, ES.5*
AC-4 CV38*~3C×2
 } ケーブルラック (W=200, 7mm, カバー付)

注記
 1) 屋中の空調機外機の内容は下記参照
 AC-1~4 200V C. 5.5+6.5kw . F. (0.14+0.2kw)×2

※3

■ 項目別 6kV CVT38* (PE82)
 E1.3, E2 38*×2 (PE36)
 ET 5.5*×2